

平成 16 年度

障害児者の社会参加のための水泳教室の開催とスポーツ活動

バリアフリーの支援活動に関する研究打ち合わせ会議議事録

資料

平成 16 年 4 月 24 日 (土)

平成 16 年 5 月 22 日 (土)

平成 16 年 6 月 26 日 (土)

平成 16 年 8 月 28 日 (土)

平成 16 年 10 月 2 日 (土)

平成 16 年 10 月 30 日 (土)

平成 17 年 2 月 19 日 (土)

平成 17 年 3 月 19 日 (土)

開催日：4月24日（土）

岡山県保健福祉部障害福祉課スタッフ：1名

岡山県水泳連盟スタッフ：竹内巖，岸田康弘，小橋一之，井戸佳織，石井清子，
星島葉子

川崎医療福祉大学スタッフ：小野寺，西村（正），天岡，藤澤，小野，川岡，西村（一），
岡本，関，西岡，坂川，坂本，藤森，宮下，大塚，大西，
深見，石田，野間

対象者：計34名（知的；23名，身体的；11名）

指導プログラム

知的障害者

- ・ウォーミングアップ 25m×2本
- ・自由泳ぎ（泳力調査）
- ・ビート板キック 25m×2本
- ・クロール（プル練習） 25m×2本
- ・背浮き 12.5m×2本

身体的障害者

- ・クロール：ウォーミングアップ 50m×2本，キック 50m×2本，
コンビ 50m×2本 25m×4本
- ・背泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×4本
- ・平泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×4本
- ・バタフライ：コンビ 25m×2本

スタッフ反省会

- ・着替えの補助について
- ・スタッフの役割分担について
- ・準備物の確認について

開催日：5月22日（土）

岡山県保健福祉部障害福祉課スタッフ：1名

岡山県水泳連盟スタッフ：竹内巖，岸田康弘，小橋一之，星島葉子

川崎医療福祉大学スタッフ：小野寺，西村（正），天岡，小野，川岡，西村（一），河野，岡本，関，西岡，坂本，崎谷，中川（瞳），大西，森定，石田，吉田，原田

対象者：計32名（知的；21名，身体的；11名）

指導プログラム

知的障害者

- ・ウォーミングアップ 25m×2本
- ・ウォーキング 25m×2本
- ・ふし浮き 12.5m×2本
- ・ビート板を利用したふし浮き 12.5m×2本
- ・ビート板キック 25m×2本
- ・クロール（プル練習） 25m×2本

身体的障害者

- ・クロール：ウォーミングアップ 50m×2本，キック 50m×2本，コンビ 50m×2本 25m×4本
- ・背泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×4本
- ・平泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×4本
- ・バタフライ：キック 25m×2本，コンビ 25m×4本
- ・ダウン：クロール 50m×1本

スタッフ反省会

- ・備品の購入について
- ・着替えの補助について
- ・トイレ休憩について
- ・水泳連盟スタッフの関わりについて

開催日：6月26日（土）

岡山県保健福祉部障害福祉課スタッフ：1名

岡山県水泳連盟スタッフ：竹内巖，岸田康弘，小橋一之，井戸佳織，石井清子，
星島葉子

川崎医療福祉大学スタッフ：小野寺，西村（正），朱，天岡，藤澤，小野，西村（一），
妹尾，岡本，関，西岡，坂川，坂本，崎谷，中川（瞳），
藤森，宮下，大西，石田，岸本，原田，野間

対象者：計34名（知的；25名，身体的；9名）

指導プログラム

知的障害者

- ・ウォーミングアップ 25m×2本
- ・ふし浮き 12.5m×2本
- ・バタ足 25m×2本
- ・クロール（プル練習） 25m×2本
- ・背浮き 12.5m×2本

身体的障害者

- ・クロール：ウォーミングアップ 50m×2本，キック 50m×2本 25m×2本，
プル 50m×2本 25m×4本，コンビ 50m×2本 25m×2本
- ・背泳ぎ：コンビ 50m×1本，キック 50m×2本 25m×2本，
- ・平泳ぎ：キック 50m×2本 25m×2本，コンビ 25m×4本
- ・バタフライ：コンビ 25m×4本
- ・ダウン：クロール 50m×1本
- ・クロール基礎練習

スタッフ反省会

- ・赤台（水位を上げるための台）の位置確認について
- ・対象者の鍵の管理について
- ・各コースのスタッフの数について
- ・対象者への対応について
- ・対象者の定員について

開催日：8月28日（土）

岡山県保健福祉部障害福祉課スタッフ：1名

岡山県水泳連盟スタッフ：竹内巖，岸田康弘，小橋一之，石井清子，星島葉子

川崎医療福祉大学スタッフ：小野寺，西村（正），天岡，藤澤，小野，川岡，西村（一），
河野，妹尾，岡本，関，坂川，崎谷，中川（瞳），深見，
森定，石田，原田，野間

対象者：計34名（知的；20名，身体的；14名）

指導プログラム

知的障害者

- ・ウォーミングアップ 25m×2本
- ・バタ足 25m×2本
- ・クロール ビート板を使用した手の練習 25m×3本
- ・背泳ぎ 25m×2本

身体的障害者

- ・クロール：ウォーミングアップ 50m×2本，キック 50m×2本，
プル 50m×2本 25m×4本，コンビ 50m×2本 25m×2本
- ・背泳ぎ：キック 50m×2本 25m×2本，コンビ 25m×4本
- ・平泳ぎ：キック 50m×3本，コンビ 50m×2本 25m×2本
- ・バタフライ：コンビ 25m×4本
- ・ダウン：クロール 50m×1本

スタッフ反省会

- ・初参加の対象者への対応について
- ・車椅子の数について
- ・車椅子を使用する対象者の補助について
- ・スタッフの役割分担について

開催日：10月2日（土）

岡山県保健福祉部障害福祉課スタッフ：1名

岡山県水泳連盟スタッフ：竹内巖，井戸佳織，石井清子，星島葉子

川崎医療福祉大学スタッフ：小野寺，西村（正），藤澤，小野，川岡，西村（一），妹尾，岡本，関，西岡，坂川，坂本，崎谷，中川（瞳），藤森，宮下，野間

対象者：計40名（知的；27名，身体的；13名）

指導プログラム

知的障害者

- ・ウォーキング 25m×2本
- ・バタ足 25m×2本
- ・ビート板を使用したバタ足 25m×2本
- ・クロール 25m×3本
- ・背泳ぎ 25m×2本

身体的障害者

- ・クロール：ウォーミングアップ 50m×1本，キック 50m×2本，プル 50m×2本，コンビ 50m×1本 25m×2本
- ・背泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×4本
- ・平泳ぎ：キック 50m×2本，コンビ 50m×3本 25m×2本
- ・バタフライ：コンビ 25m×2本
- ・ダウン：クロール 50m×1本

スタッフ反省会

- ・対象者の鍵の管理について
- ・ロッカーの使用について
- ・記録のつけ方について
- ・水泳連盟スタッフの人数について
- ・対象者の人数制限について

開催日：10月30日（土）

岡山県保健福祉部障害福祉課スタッフ：1名

岡山県水泳連盟スタッフ：竹内巖，岸田康弘，小橋一之，井戸佳織，石井清子，
星島葉子

川崎医療福祉大学スタッフ：小野寺，藤澤，小野，川岡，西村（一），妹尾，岡本，関，
西岡，坂本，崎谷，中川（隆），森定，中川（進），原田，
藤森，宮下，大塚，大西，石田，野間

対象者：計35名（知的；25名，身体的；10名）

指導プログラム

知的障害者

- ・ウォーキング 25m×2本
- ・顔つけ
- ・バタ足 25m×2本
- ・ビート板を使用したバタ足 25m×2本
- ・クロール ビート板を使用した手の練習 25m×2本
- ・ビート板を使用した背泳ぎ 25m×1本

身体的障害者

- ・クロール：ウォーミングアップ 50m×2本，キック 50m×2本，
プル 50m×2本，コンビ 50m×2本 25m×2本
- ・背泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×3本
- ・平泳ぎ：コンビ 50m×1本，キック 50m×2本，コンビ 50m×1本 25m×2本
- ・バタフライ：コンビ 25m×3本
- ・ダウン：クロール 50m×1本

スタッフ反省会

- ・トイレ休憩の取り方について
- ・対象者への対応の仕方について
- ・備品の購入について

開催日：2月19日（土）

岡山県保健福祉部障害福祉課スタッフ：1名

岡山県水泳連盟スタッフ：竹内巖，岸田康弘，小橋一之，井戸佳織，石井清子，
星島葉子

川崎医療福祉大学スタッフ：小野寺，西村（正），白，藤澤，小野，川岡，西村（一），
岡本，関，西岡，坂川，崎谷，中川（瞳），藤森，宮下，
大塚，大西，野間

対象者：計22名（知的；13名，身体的；9名）

指導プログラム

知的障害者

- ・バタ足 25m×2本
- ・ビート板を使用した手の練習 25m×2本
- ・クロール 25m×3本
- ・背浮き（補助付き） 12.5m×2本
- ・ビート板を使用した背浮き 12.5m×2本
- ・背泳ぎ 25m×2本

身体的障害者

- ・クロール：ウォーミングアップ 50m×2本，キック 50m×3本，
プル 50m×3本，コンビ 50m×2本 25m×2本
- ・背泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×4本
- ・平泳ぎ：キック 50m×3本，コンビ 50m×2本 25m×2本
- ・バタフライ：キック 50m×2本，コンビ 25m×2本
- ・ダウン：クロール 25m×2本

スタッフ反省会

- ・スタッフの役割分担について
- ・トイレ休憩の取り方について
- ・準備物の確認について

開催日：3月19日（土）

岡山県保健福祉部障害福祉課スタッフ：1名

岡山県水泳連盟スタッフ：竹内巖，岸田康弘，小橋一之，井戸佳織，石井清子，
星島葉子

川崎医療福祉大学スタッフ：小野寺，白，藤澤，小野，川岡，西村（一），河野，岡本，
関，西岡，坂川，崎谷，大西，深見，中川（進），吉田，
森定，石田，原田

対象者：計29名（知的；16名，身体的；13名）

指導プログラム

知的障害者

- ・ウォーキング 25m×2本
- ・ビート板キック 25m×3本
- ・ビート板を使用した手の練習 25m×2本
- ・クロール 25m×2本
- ・背泳ぎ キック 25m×2本

身体的障害者

- ・クロール：アップ 50m×2本，キック 50m×2本，コンビ 50m×2本 25m×4本
- ・背泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×4本
- ・平泳ぎ：キック 25m×4本，コンビ 25m×4本
- ・バタフライ：キック 25m×2本，コンビ 25m×4本
- ・ダウン：クロール 50m×1本

スタッフ反省会

- ・スタッフの役割分担について
- ・準備物の前日確認について
- ・準備物の数について
- ・対象者の鍵の管理について
- ・対象者への対応について
- ・着替えの時間帯について

平成 16 年度

養護学校生徒のエンパワメント向上のための地域支援基盤づくり

に関する研究打ち合わせ会議議事録

資料

平成 16 年 8 月 5 日 (木)

平成 16 年 8 月 19 日 (木)

平成 16 年 12 月 9 日 (木)

平成 17 年 2 月 10 日 (木)

倉敷養護学校水泳教室

開催日：8月5日木曜日 午前10:00～12:00

於：倉敷市健康福祉プラザ温水プール

倉敷養護学校教諭：11名

川崎医療福祉大学スタッフ：13名

倉敷養護学校中等部：18名

授業プログラム

・準備体操	(5分)
・自由遊び	(5分)
・サーキット (3班に分かれる)	(15分)
①グループ (顔つけできない・歩行の安定していない人)	
ロングビート板で作ったトンネルをくぐる→ヌードルを運ぶ→ロングビート板 or ビート板に乗りスタッフが引っ張る→フラフープの中に入っているボールを1つ取り、プールサイドにいるスタッフに渡す。	
②・③グループ (顔つけできる・歩行が安定している人)	
フラフープをくぐる→水中にある平均台を渡る→水中にあるリングを潜って拾い、プールサイドにいるスタッフに渡す。	
休憩	(10分)
・浮く、泳ぐ練習	(10分)
①仰向け：ヌードルに頭を乗せ、顔は水に浸からない ②顔つけをしながらヌードルを持って浮く・バタ足 ③顔つけをしながらビート板キック	
・水中ダンス	(5分)
・整理体操	

反省会

- ・対象者との接し方について.
- ・養護学校教諭との連携について.

開催日：8月19日木曜日 午前10:00～12:00

於：倉敷市健康福祉プラザ温水プール

倉敷養護学校教諭：10名

川崎医療福祉大学スタッフ：14名

倉敷養護学校中等部：17名

授業プログラム

・準備体操	(5分)
・自由遊び	(5分)
・サーキット (3班に分かれる)	(15分)
①グループ (顔つけできない・歩行の安定していない人)	
ロングビート板で作ったトンネルをくぐる→ロングビート板 or ビート板に乗り スタッフが引っ張る→フラフープの中に入っているボールを1つ取り、プール サイドにいるスタッフに渡す。	
②・③グループ (顔つけできる・歩行が安定している人)	
フラフープをくぐる→水中にある平均台を渡る→水中にあるリングを潜って拾 い、プールサイドにいるスタッフに渡す。	
休憩	(10分)
・浮く、泳ぐ練習	(10分)
①仰向け：ヌードルに頭を乗せ、顔は水に浸からない ②顔つけをしながらヌードルを持って浮く・バタ足 ③顔つけをしながらビート板キック	
・水中ダンス	(5分)
・整理体操	

反省会

- ・対象者への声かけについて。
- ・課題に参加できない対象者に対するアプローチ法について。

開催日：12月9日木曜日 午前10:00～12:00

於：倉敷市健康福祉プラザ温水プール

倉敷養護学校教諭：11名

川崎医療福祉大学スタッフ：9名

倉敷養護学校中等部：27名

授業プログラム

・準備体操	(5分)
・自由遊び	(5分)
・サーキット (3班に分かれる)	(15分)
①グループ (顔つけできない・歩行の安定していない人)	
ロングビート板で作ったトンネルをくぐる→ロングビート板 or ビート板に乗りスタッフが引っ張る→フラフープの中に入っているボールを1つ取り、プールサイドにいるスタッフに渡す。	
②・③グループ (顔つけできる・歩行が安定している人)	
フラフープをくぐる→水中にある平均台を渡る→水中にあるリングを潜って拾い、プールサイドにいるスタッフに渡す。	
休憩	(10分)
・浮く、泳ぐ練習	(10分)
①仰向け：ヌードルに頭を乗せ、顔は水に浸からない ②顔つけをしながらヌードルを持って浮く・バタ足 ③顔つけをしながらビート板キック	
・水中ダンス	(5分)
・整理体操	

反省会

- ・対象者の泳力に応じた指導について。
- ・スタッフの数が少ないときの協力の仕方について。

開催日：2月10日木曜日 午前10:00～12:00

於：倉敷市健康福祉プラザ温水プール

倉敷養護学校教諭：11名

川崎医療福祉大学スタッフ：8名

倉敷養護学校中等部：27名

授業プログラム

・準備体操	(5分)
・自由遊び	(5分)
・サーキット (3班に分かれる)	(15分)
①グループ (顔つけできない・歩行の安定していない人)	
ロングビート板で作ったトンネルをくぐる→ロングビート板 or ビート板に乗り スタッフが引っ張る→フラフープの中に入っているボールを1つ取り、プール サイドにいるスタッフに渡す。	
②・③グループ (顔つけできる・歩行が安定している人)	
フラフープをくぐる→水中にある平均台を渡る→水中にあるリングを潜って拾 い、プールサイドにいるスタッフに渡す。	
休憩	(10分)
・浮く、泳ぐ練習	(10分)
①仰向け：ヌードルに頭を乗せ、顔は水に浸からない ②顔つけをしながらヌードルを持って浮く・バタ足 ③顔つけをしながらビート板キック	
・水中ダンス	(5分)
・整理体操	

反省会

- ・対象者に対する声かけについて.
- ・スタッフの数が少ないときの養護学校教諭との協力の仕方について.

車イス競技における アスリート医科学サポート事業報告

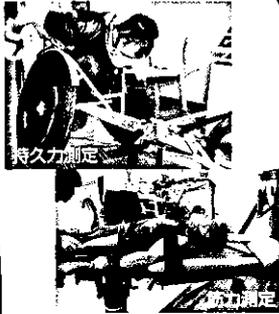
医科学サポートは心技体のトータルサポート

メディカルサポート



心電図・血液検査などで健康状態をチェック。またデキサ法を用いて体脂肪率、筋量、骨量のチェックもします。

体力サポート



心肺持久力の測定と筋力測定をすることで、個人にあったトレーニング処方を行います。

栄養サポート



摂取エネルギー、栄養バランスを評価し、体づくりやコンディショニングづくりに活かします。

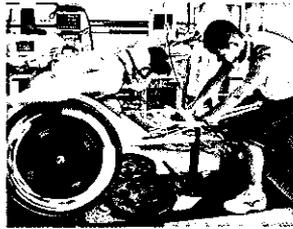
メンタルサポート



性格検査、心理的競技能力診断検査を用いてメンタルの強化を図ります。

技術サポート

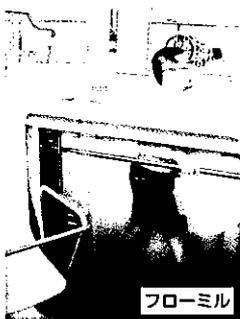
筋肉の動かし方や車イスの使い方など技術の習得は競技力向上に直接役立ちます。



アテネパラリンピック
陸上ヘッドコーチ
指宿 立さんの指導

車イス競技選手では、技術と体力サポートへの要望が高く、その他のサポートに対する意識は低いという結果でした。競技力アップのためには心技体のトータルサポートが必要です。

トレーニング機器の紹介



水中歩行機です。リフトで昇降できます。

フローミル



バランス感覚や体幹を鍛えることができます。

ジョーバ



上肢エルゴ

手で漕ぐ自転車です。持久力がつきます。



ニューステップ

麻痺のある方もステップ運動ができます。



振動マシン

床が振動することで筋に刺激が伝わります。

トレーニングはバリアフリー

岡山県南部健康づくりセンターでは、車イス競技者だけでなく脳梗塞後遺症の方やパーキンソン病の方、人工股関節術後の方、リウマチの方など障害のある方もない方も一緒にトレーニングを楽しんでいます。

利用に関する問い合わせ TEL: 086-246-6250 e-mail:center@okakenko.jp

運動することで肥満を予防

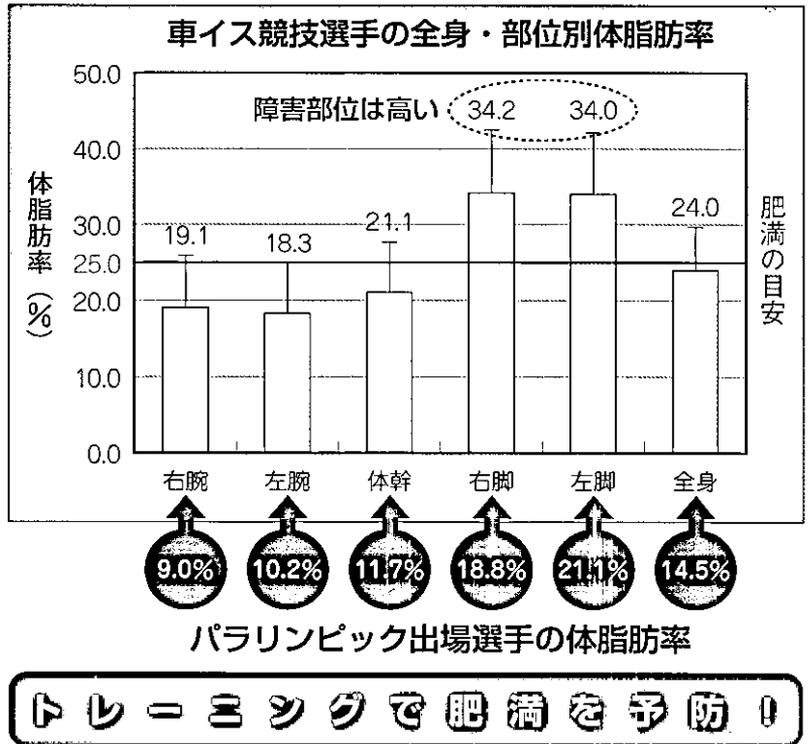
脊髄損傷者の多くが肥満傾向

体脂肪率が多くなると、高血圧や糖尿病などの生活習慣病になる率が高くなります。

一般青年男性の全身の平均体脂肪率は15%

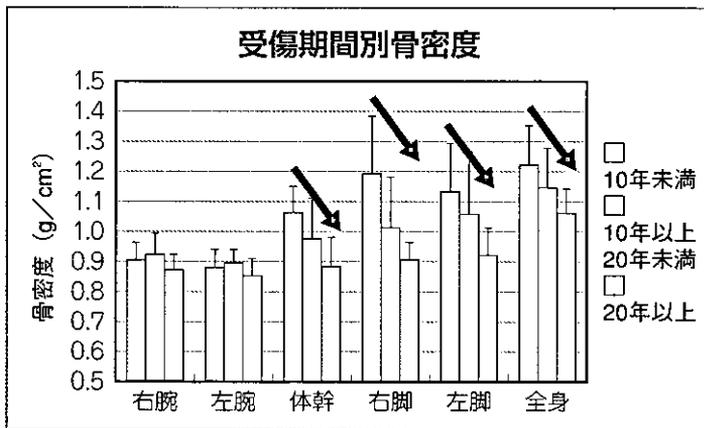


笹原廣喜選手
アテネパラリンピック
マラソン9位



トレーニングで肥満を予防!

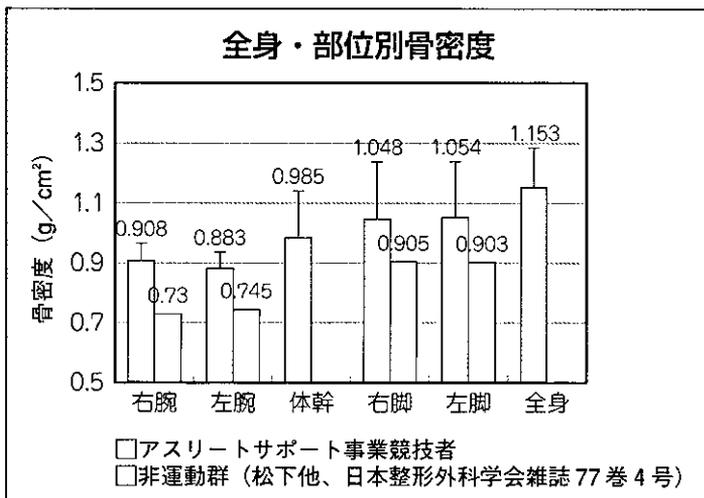
運動することで骨粗しょう症を予防



脊髄損傷部位以下の骨は弱くなっています

骨が弱くなると痛みを生じやすくなり、骨折もしやすくなります。競技においては疲労骨折を起こしやすく、トレーニングが十分にできません。

動かない体幹や脚部の骨密度は受傷期間が長くなるほど低下します



運動習慣のない脊髄損傷者に比べて車イス競技者の骨は強い

トレーニングで骨粗しょう症を予防!

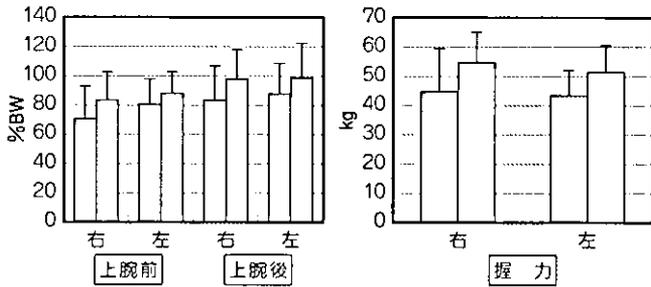
トレーニング処方につながります

筋力トレーニング

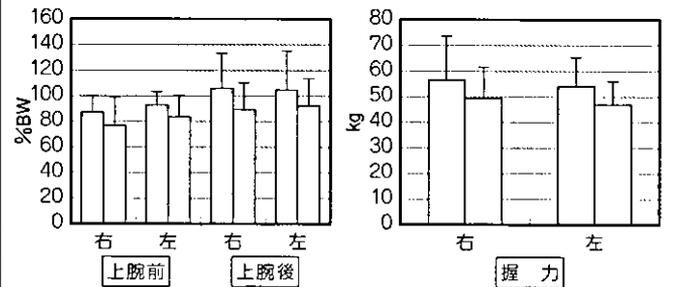
損傷部位により筋力に差がある

競技レベルの高い選手は筋力が強くバランスが良い

損傷部位別筋力 □胸膈上部損傷 (11名) □胸膈下部損傷 (15名)

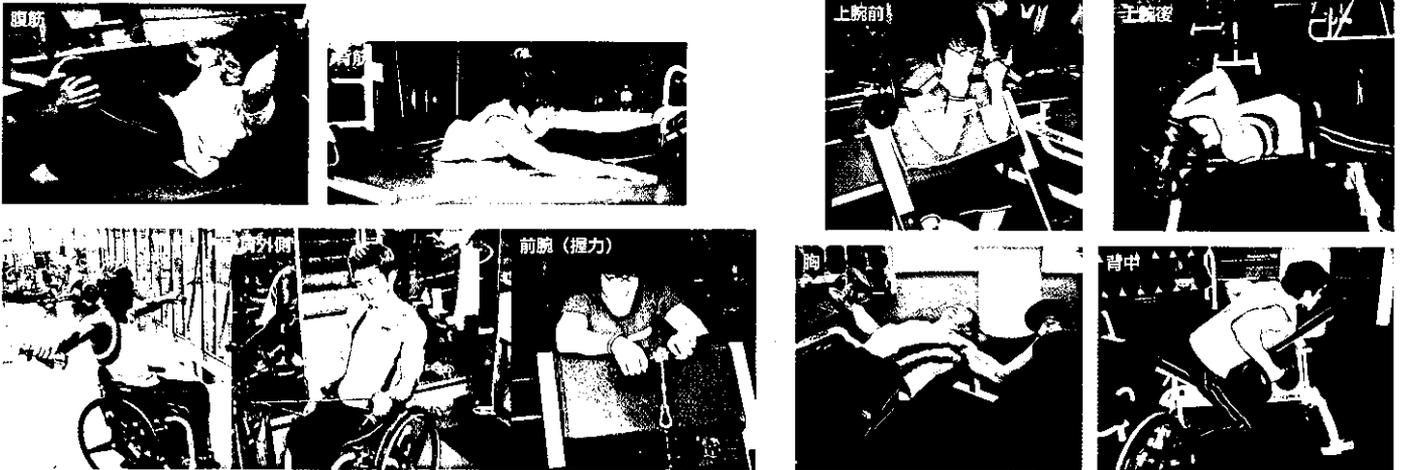


競技レベル別筋力 □国際レベル (4名) □全国・地方レベル (21名)



(体幹部(腹筋、背筋)など動く筋肉すべてのトレーニングが重要)

(前側と後側、内側と外側など両側をバランス良く鍛えることが重要)



ストレッチ

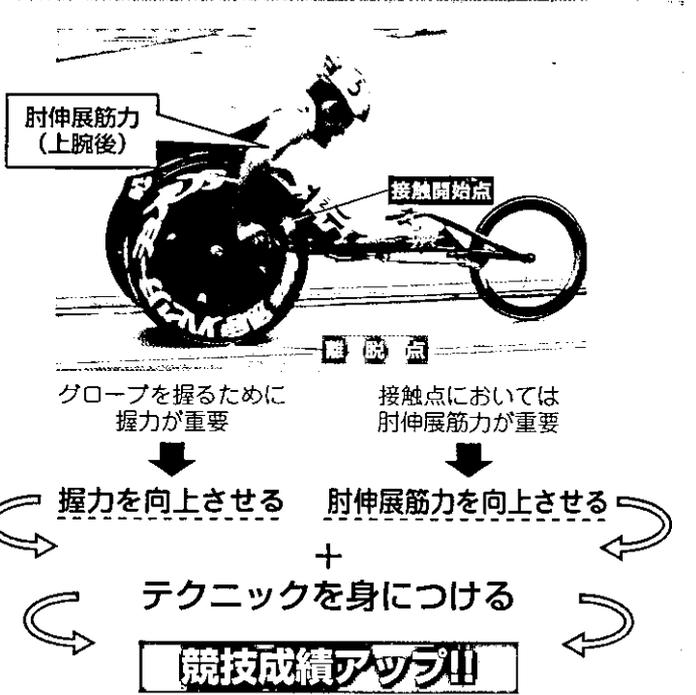
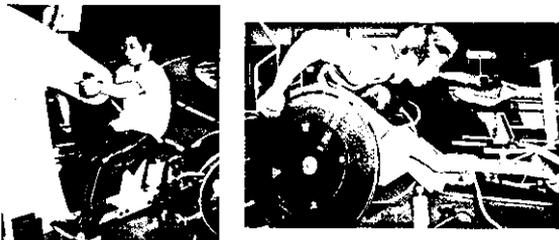
技術トレーニング

レーサーをスムーズに漕ぐためには柔軟性が必要



有酸素運動

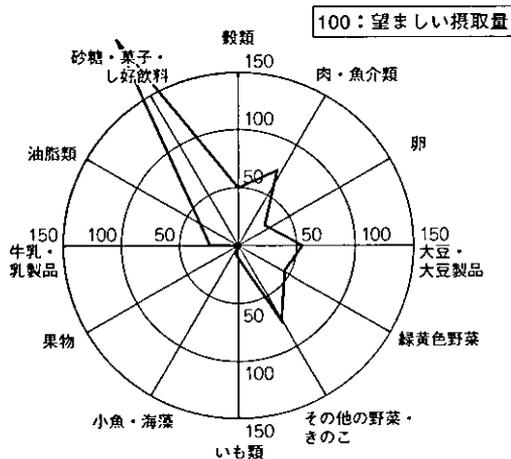
持久力アップはさらなる競技力向上に必要



トータルサポートで強くなります

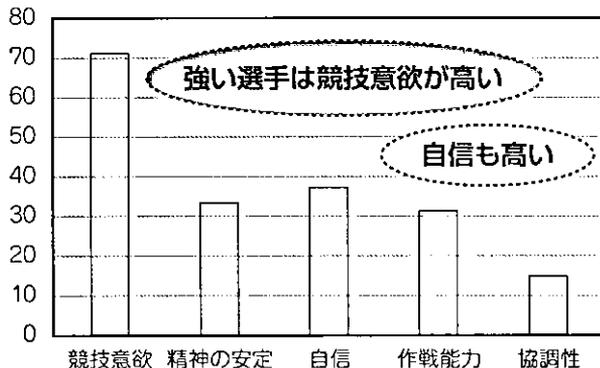
食生活とメンタルの強化も必要

食品群別の摂取量



望ましい摂取量に比べて、実際の摂取量は少ない傾向で食生活にかたよりが見られます。また糖分の多いスポーツ飲料、缶コーヒーの飲み過ぎや間食などが目立ちます。スポーツ選手としての栄養への意識・自覚が必要です。

心理的競技能力診断検査結果



自信要因には高い値を示しましたが、精神の安定・集中要因に非常にもろい傾向を示しています。心理面の強化が必要なタイプと推察されます。感情のコントロールやスポーツ情報の蓄積に全力をつぎ込み、練習や試合に対する感情の部分の記録をとりながらプレッシャーや不安・動揺・緊張にうち勝ってください。

自分の心理面を知りコントロールすることで試合で実力を発揮できます。世界を目指すためには重要なサポートです。

世界を目指して! ~ 情報交換と交流 ~

アテネオリンピック陸上コーチの武富監督からマラソンコースの下見情報をパラリンピック指宿コーチにバトンタッチ



情報バリアフリー



シドニーオリンピック女子マラソン代表 山口衛里選手をまじえての交流

アテネパラリンピック金メダリスト 安岡チョーク選手も本事業に参加しました



仲間とともに



スポーツを通じて仲間づくり

オリンピック選手、パラリンピック選手、監督、コーチ、スポーツドクター、栄養士、トレーナーなど、交流を通じて、選手やサポートチームのさらなるレベルアップを図っています。

- 研究協力者 山根 勇、山本一夫、松永仁志、葛岡志郎、佐藤仁志、佐藤由加、宮本美紀、岡山県車イスバスケットボール連盟のみなさん、テニス競技のみなさん
指宿 立、田中秀夫、笹原廣喜、安岡チョーク、小出公典、渡辺幹司、阿南正史、富川文男
武富 豊、山口衛里(天満屋女子陸上競技部)、藤原進一郎、三井利仁(日本障害者スポーツ協会)
- 研究スタッフ 高橋香代、生田悦子、佐藤真理子、橋本好、宮原公子、三浦孝仁(岡山大学)
沼田健之、西河英隆、森下明恵、宮武伸行、国橋由美子(岡山県南部健康づくりセンター)
後藤清志、犬飼義秀(岡山県立大学短期学部)、小野寺 昇、末光 茂(川崎医療福祉大学)

特定非営利活動法人
岡山県障害者スポーツネットワーク

定 款

第 1 章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人 岡山県障害者スポーツネットワーク という。

(事 務 所)

第2条 この法人は、主たる事務所を 岡山県内に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目 的)

第3条 この法人は、障害者や高齢者など老若男女にかかわらず親しまれているスポーツを媒体として、生活の質QOL (Quality Of Life) を高めながら、人類共有の文化として発展し続けている。しかし、高度情報社会にあつて、障害者や高齢者が日常的に気軽に行えるスポーツに関する情報が不足している現状があり、これを打開するため、スポーツ施設の状況や仲間、指導者などの必要な情報を収集、ホームページ等に掲載するなど、障害者等のスポーツ普及に関する情報ネットワークを拡大することによって、バリアフリーの明るくて、活力にあふれる社会づくりに貢献することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (5) 地域安全活動
- (6) 国際協力の活動
- (7) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (8) 子どもの健全育成を図る活動
- (9) 情報化社会の発展を図る活動
- (10) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

(事 業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

特定非営利活動に係る事業

- (1) 障害者スポーツのホームページ等による情報提供
- (2) 子供・高齢者・障害者まで地域市民みんなで楽しめるスポーツイベント開催、支援
- (3) 障害者スポーツの振興に関する物品類の販売
- (4) 指導者に関する情報の提供
- (5) スポーツ教室の開催
- (6) スポーツの普及と振興のための事業
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

第 3 章 会 員

(種 別)

第6条 この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 準会員 この法人の目的に賛同して支援する個人及び団体
- (3) 賛助会員 この法人の目的を賛助する個人及び団体

(入 会)

第7条 正会員の入会については、特に条件を定めない。

2 正会員として入会しようとする者は、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

3 理事長は前項の者の入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(年 会 費)

第8条 会員は、総会において別に定める年会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 継続して2年以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

(退 会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。